

(1) **leave**

let + 人 + 原形不定詞で、to がない原形を使います。「マネージャーは従業員たちが金曜日に早く帰るのを許した」という意味です。

(2) **do**

make + 人 + 原形不定詞で、to がない原形を使います。「厳しい先生は学生たちに宿題をもう一度させた」という意味です。

(3) **solve**

help + 人 + (to) 原形で、to は省略できます。「この問題を解くのを手伝ってくれませんか」という意味です。

(4) **redo**

make + 人 + 原形不定詞で、to がない原形を使います。「監督は俳優たちにシーンを何度も繰り返させた」という意味です。

(5) **gather**

let + 人 + 原形不定詞で、to がない原形を使います。「執行機関は抗議者たちが指定された地域に集まるのを許した」という意味です。

(6) **complete**

help + 人 + (to) 原形で、to は省略できます。「同僚は私がプロジェクトを時間内に完成させるのを手伝った」という意味です。

(7) **The teacher let the students leave early.**

letは原形不定詞(toなし)を使います。let + 人 + 動詞の原形の語順です。

(8) **The coach made him do extra practice.**

makeは原形不定詞を使います。make + 人 + 動詞の原形の語順。「コーチは彼に追加練習をさせた」

(9) **She helped me to understand the concept.**

help + 人 + to + 動詞の原形で「人が~するのを助ける」。toは省略可能ですが、ここでは語群にtoが含まれるためtoありの形で並べます。

(10) **イ**

let + 人 + 原形不定詞で、to がない原形を使います。イが正しい形です。ウも文法的には正しいですが、let を使う場合は原形です。

(11) **ア**

let は「~するのを許す」という許可、make は「~させる」という強制的の意味で使われます。

(12) **ア**

help + 人 + (to) 原形で、to は省略できます。アが最も自然な表現です。

(13) **イ**

let + 人 + 原形不定詞が正しい構文です。イが最も正しい表現です。

(14) **This experience made him grow. / This experience made him mature.**

make + 人 + 原形不定詞の構文を使います。「この経験が彼を成長させた」という意味になります。

(15) **She helped me learn a new language. / She helped me to learn a new language.**

help + 人 + (to) 原形の構文を使います。to は省略することもできます。